



ゾンタニュースレター 2019年5月号 (抄訳)



この国では、生活費に重きをおくか、一人以上の子供たちを学校に行かせるか、両親はいずれかを選択しなければなりません。ゾンタはマダガスカルの少女たちが教育を受ける権利を得るよう援助しています。

皆様：

マダガスカルの少女たちを後ろに残して行くことは出来ません。

2016 年以来、国際ゾンタはユニセフと共に、プログラム [Let Us Learn](#) を通し、マダガスカルの少女達に、教育と生活の向上への新しい希望を与えてきました。

この構想は、虐待をうけ不登校になっている子供たちのために、教育を阻む壁に立ち向かうもので、教室や手洗い所を作り、教育資金や栄養不足を補うために、家族に現金を渡しています。少女達のためには勉強の遅れを取り戻すクラスを開き、毎月の生理について教え、又、搾取・暴力の対象となっている子供たちへの医療、法的、社会的援助も行なっています。

その成果は目覚ましいものです。

この4月にゾンタは現地訪問をしました。4人のゾンタリーダーたちが、マダガスカルの一人の少女を訪れ一日を過ごしました。ゾンタを代表したのは、国際副会長ウテ・ショルツ、同行したのは元国際理事ジュデイ・カウツ、2018年国際コンベンション議長・三宅定子、元16地区ガバナー・タマラ・ヘイゲンでした。

彼らが会った若者たちの印象やプログラム「[Let Us Learn](#)」の成果について是非お読みください。



国際会長・スザンヌ・フォン・バセヴィッツ

Dr. Susanne von Bassewitz, President

マダガスカルのプログラムへの寄附は下の **Donate** マークをクリックして。

Donate



様々な利益

ユニセフとゾンタのチームが南部にあるアンボアサリを訪れました。**Let Us Learn** プログラムの成果として、校舎と衛生設備が国際ゾンタの支援で建設されていました。タマラはその印象を語ります。

「校舎は良い建築で、開放的で明るい。机を置くスペースも十分あるけれど、教室を交代で使わなければならないとのこと。生徒たちは以前の学校よりずっと良いと言っていました。家に近く安全です。洪水の時期に川を渡る必要

もなく、道で強盗に遭うこともありません」

詳しくはこちらから [Read more.](#)



結果が目に見えます

チームはタナンダヴァも訪れました。現金で援助を受け取った人たち、及びコミュニティの母親リーダーたちと会いました。ウテはこのプログラムの成果を直接に見ることができました。

「現金を受けることで、家族を自立させ、子供たちを学校に行かせることができます。ある家族は、その現金で羊を一頭買い入れ、ミルクを得、チーズを作るようになりました。私たちがこの村を訪れた時、その羊が2匹の子羊を生んだばかりでした」

詳しくはこちらから [Read more.](#)



学習

フォート・ドーフィンで、ジュニア・レポーター・クラブのメンバーに紹介されました。彼らは、週二回集まり、企画、録音し、放送で流します。内容は：

- 環境
- 麻疹の流行
- 教育の重要性
- 児童の結婚
- 性的暴力
- その他コミュニティに関するトピック.

詳しくはこちらから [Read more.](#)



経験を語り合う

最後の日は、子供保護クラブの討論会が若者たちの主導で行われました。出席者たちから直接その経験を訊きました。性的暴力、レイプ、児童の売春が珍しくなく、二人の少女たちは両親から早く結婚するよう求められていました。

クラブで学んだことを、クラブに参加していない友人たちにも伝えていると若者たちが言っていました。

詳しくはこちらから。[Read more.](#)

Donate

寄附はこちらから。

貴方のソーシャル・フィードにこのニュースレターを流し、
貴方のネットワークに国際ゾンタの使命、活動を報せて下さい。



www.zonta.org

STAY CONNECTED

